

Collège de France
Philologie de la civilisation japonaise
2018-2019

Le Roman du Genji:
Poésie, langue et bouddhisme
7. Le 19 février 2019

- *La toile de fond bouddhique: chapitres I et V* -

- *Konjaku-monogatari-shû* 今昔物語集
- 三寶繪詞, traduit par Edward Kamens, *The Three Jewels*, 1988.
- *Kako-genzai inga-kyô* 過去現在因果經
Gunabhadra 求那跋陀羅 Gunabaddara

- 其の後、大王、并太子夫人、城に返入給ひぬ。摩耶夫人は太子生れ給て後、七日有て失給ひにけり。然(さ)れば、大王より始め、国挙て歎き合へる事限無し。太子、未だ幼稚に御(おはし)ます間にて、「誰か養ひ奉らむ」と、大王思(おぼ)し歎く。
- 夫人の父、善覚長者、八人の娘有り。其の第八の娘を摩迦波闍と云ふ。其の人を以て太子を養ひ給ふ。実の母に異らず。太子の御夷母(をば)に御す。太子の御名をば悉駄と申す。摩耶夫人は失給て、忉利天に生れ給ひにけりとなむ、語り伝へたるとや。

- そのころ、高麗人の参れる中に、かしこき相人ありけるを聞こし召して、宮の内に召さむことは、宇多帝の御誡めあれば、いみじう忍びて、この御子を鴻臚館に遣はしたり。御後見だちて仕うまつる右大弁の子のやうに思はせて率てたてまつるに、相人おどろきて、あまたたび傾きあやしむ。

- 「国の親となりて、帝王の上なき位にのぼるべき相おはします人の、そなたにて見れば、乱れ憂ふることやあらむ。朝廷のかためとなりて、天の下を輔くる方にて見れば、またその相違ふべし」と言ふ。

- ...善相婆羅門と云人を請じて、妙に香しき花・種々の飲食を以て、婆羅門を供養して、夫人の夢想を問給ふに、婆羅門、大王に申して云く、「夫人の懐み給へる所太子、諸の善く妙なる相御(おはしま)す。委く説くべからず。今、当に王の為に略して説くべし。此の夫人の胎の中の御子は、必ず光を現ぜる釈迦の種族也。胎を出給はむ時、大に光明を放たむ。梵天・帝釈及び諸天、皆恭敬せむ。此の相は必ず是れ仏に成べき瑞相を現ぜる也。若し、出家に非ずば転輪聖王として、四天下に七宝を満て、千の子を具足せむとす」と。

- 「光る君」といふ名は、高麗人のめできこえてつけたてまつりけるとぞ、言ひ伝へたるとなむ。

- Ashida-sennin 阿私陀仙人 || 阿私仙
- 又問仙人。尊者向占言。有二種。一當作王。二成正覺。而今云何言
- 爾時白淨王心自思惟。阿私陀仙人。居在香山。途逕嶮絕。非人所到。當以何方請來至此。王可作此心念之時。阿私陀仙人。遙知王意。又復先見諸奇瑞相。深解菩薩為破生死故現受生。以神通力。騰虛而來。

T III ,189

- 阿私陀仙人。乘虛空來。今在門外。王聞歡喜。即勅令前。王至門上自奉迎之。既見仙人。恭敬禮拜。而即問言。尊者既來。住門不進。為守門者不聽前耶。仙人答言。無見止者。既來相詣。宜須先白。王便隨從。入於後宮。

- 帝、かしこき御心に、倭相を仰せて、思しよりにける筋なれば、
- [右大]弁も、いと才かしこき博士にて、言ひかはしたることどもなむ、いと興ありける。

- また絵所に上手多かれど、墨がきに選ばれて、次々にさらに劣りまさるけぢめ、ふとしも見え分かれず。かかれど、人の見及ばぬ蓬萊の山、荒海の怒れる魚の姿、唐国のはげしき獣の形、目に見えぬ鬼の顔などの、おどろおどろしく作りたる物は、心にまかせてひとときは目驚かして、実には似ざらめど、さてありぬべし。

- 世の常の山のたたずまひ、水の流れ、目に近き人の家居ありさま、げにと見え、なつかしくやはらいだる形などを静かに描きまぜて、すくよかならぬ山の景色、木深く世離れて畳みなし、け近き籬の内をば、その心しらひおきてなどをなむ、上手はいと勢ひことに、悪る者は及ばぬ所多かめる。

- 宮人に 行て語らむ 山桜 風よりさきに
来ても見るべく
- *miya-bito ni / yukite kataramu / yama-zakura /
kaze yori saki ni / kite mo miru beku*

- 優曇華の 花待ち得たる 心地して 深山
桜に 目こそ移らね
- *udonge no / hana machi-etaru / kokochi shite /
mi-yama-zakura ni / me koso utsurane*

- 奥山の 松の戸ぼそを まれに開けて まだ見ぬ花の 顔を見るかな
- *okuyama no / matsu no toboso wo / mare ni akete / mada minu hana no / kao wo miru kana*

- 見宝塔品：
- 釈迦牟尼仏 以右指 開七宝塔戸 出大音声
- たまのと越 ひらきしときに あはすして
あけぬよにしも まとふへしやは
- *tama no to wo / hirakishi toki ni / awazu shite /
awazu shite / akenu yo ni shi mo / madou beshi
ya ha*